

江東区障害者計画の進捗状況

江東区 障害者計画等推進協議会

令和5年6月27日
障害福祉部障害者施策課

施策の体系

《 基本理念 → 基本目標 → 施策の柱 》

基本理念	基本目標	施策の柱	施策
<p>共生社会の実現</p> <p>障害のある人もない人も、誰もが地域社会の一員として人格と個性を尊重し、お互いに助け合うことによって、安心して暮らすことができる共生社会をめざします。</p> <p>障害者の自立支援</p> <p>障害のある人が、社会の構成員としてその尊厳が重んぜられ、あらゆる活動に参加・参画し、社会の一員として責任を分かち合えるよう支援します。</p> <p>生活の質の向上</p> <p>障害のある人もない人も、健康で豊かな生活を送ることができるように、生活の質(クオリティ・オブ・ライフ)の向上を図ります。</p>	障害者の地域生活の確立	1 相談・情報提供体制の充実とコミュニケーションの支援	(1) 相談支援及び権利擁護体制の充実 (2) 情報バリアフリー化の推進 (3) コミュニケーション支援の充実
		2 自立生活の支援	(1) 訪問系サービス等の充実 (2) 日中活動及び居住支援の充実 (3) 移動支援及び福祉用具の利用支援 (4) 福祉サービスの質の向上 (5) 経済的自立の支援 (6) 新たな地域生活支援の拠点の整備 (7) 家族・介護者への支援
		3 健康を守る保健・医療の充実	(1) 保健サービスの充実 (2) 医療サービスの充実
	障害者の社会参加・参画の推進	4 ユニバーサルデザインの視点による生活環境の改善	(1) やさしいまちづくりの推進 (2) 住宅改修・バリアフリー化
		5 雇用・就労の拡大	(1) 就労支援の充実 (2) 雇用・就労の場の確保
		6 地域活動の支援	(1) 生涯学習・文化活動の支援 (2) スポーツ活動の支援 (3) 行政と区民との協働(区政への参画)
	共に支えあう地域社会の構築	7 区民の理解と共感の醸成	(1) 啓発・広報活動の推進 (2) 福祉教育の推進
		8 安全・安心な地域生活環境の整備	(1) 防災・防犯対策の推進 (2) 地域の支えあいの推進
	配慮を必要とするこどものための	9 配慮を必要とするこどものための教育・療育等の充実	(1) 乳幼児や就学前児童などに対する健診及び相談の充実 (2) 療育・保育・就学前教育の充実 (3) 特別支援教育体制の充実 (4) 放課後対策の充実

1 相談・情報提供体制の充実とコミュニケーションの支援

(1) 相談支援及び権利擁護体制の充実

① 身近な相談支援の充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
1	相談支援	障害者施策課や、身体障害者相談員、知的障害者相談員が行う相談支援活動。 平成28年度は、身体障害者相談員16人、知的障害者相談員7人。	継続	身体障害者相談員 16人 知的障害者相談員 7人 相談件数 身体 155件 知的 82件	身体障害者相談員 10人 知的障害者相談員 2人 相談件数 身体 89件 知的 24件	障害者施策課
2	精神保健相談	保健相談所で一般精神、思春期、酒害、高齢期に分けて実施。 平成28年度の実績は、 一般精神:83回 延べ159人 思春期:60回 延べ136人 酒害:96回 延べ313人 高齢精神:28回 延べ48人	継続	一般精神 82回 延べ143人 思春期 57回 延べ122人 酒害 83回 延べ177人 高齢精神 28回 延べ31人	一般精神 83回 延べ583人 思春期 60回 延べ131人 酒害 84回 延べ137人 高齢精神 26回 延べ41人	保健予防課
3	難病療養相談	難病で治療中または疑いをもって心配している方及びその家族を対象に、患者・家族の療養環境の整備改善のために、専門医、医師会医師、理学療法士、保健師等が医療相談を保健相談所で実施。 平成28年度の実績は、42回 延べ72人。	継続	40回 延べ50人	42回 延べ37人	保健予防課
4	障害者虐待防止センター	障害者虐待防止センターを設置し、障害者への虐待に関する通報・届出を受け付けています。	継続	養護者からの虐待 通報9件 認定2件 障害者施設従事者からの虐待 通報8件 認定3件 使用者からの虐待 通報1件	養護者からの虐待 通報16件 認定8件 障害者施設従事者からの虐待 通報12件 認定4件 使用者からの虐待 通報0件	障害者支援課
5	障害を理由とする差別の相談	障害者差別解消法に基づき、障害を理由とする差別に関する相談を実施。	継続	相談件数 17件	相談件数 4件	障害者施策課

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
6	地域自立支援協議会	障害児・者が地域で自立した生活を営むことができる社会の実現に向け、相談支援体制をはじめとする福祉サービスの連携や支援の体制に関して協議する場。	充実	協議会開催 2回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回目はオンライン会議システムも併用) 〔主な議題〕 ・障害者優先調達推進法に基づく調達実績について ・指定特定相談支援事業について	協議会開催 2回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン会議システムも併用) 〔主な議題〕 ・障害者優先調達推進法に基づく調達実績について ・指定特定相談支援事業について	障害者施策課
7	障害者差別解消支援地域協議会	相談体制や紛争解決体制の整備など、関連する様々な取り組みを総合的に展開するために協議する場。	継続	協議会開催 2回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回目はオンライン会議システムも併用) 〔主な議題〕 ・障害者差別解消法の実績報告について	協議会開催 2回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン会議システムも併用) 〔主な議題〕 ・障害者差別解消法の実績報告について	障害者施策課
8	基幹相談支援センター整備	地域において気軽に相談できる総合窓口として、困難事例の解決に関係機関と連携して取り組むといった、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関の整備を推進。	充実	実績なし	実績なし	障害者施策課

② 権利擁護体制の充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
9	成年後見制度 利用支援	知的障害者、精神障害者、認知症高齢者などで判断能力が十分でない方を保護する制度の利用に対する助成。同制度を希望する低所得者を対象として、申立てに要する費用や後見人報酬を助成。 平成28年度の実績は、 認知症高齢者 8件 知的障害者 0件 精神障害者 3件	継続	認知症高齢者 47件 ※うち申立費用1件 精神障害者 7件 知的障害者 7件	認知症高齢者 53件 ※うち申立費用3件 精神障害者 6件 知的障害者 9件	地域ケア推進課
10	権利擁護センター 「あんしん江東」	日常生活に不安のある高齢者や障害者などが、住みなれた地域で安心して暮らせるように、福祉サービスの利用手続きや財産管理の援助、悪質商法などの法律行為についての相談・助言、成年後見制度の利用などを支援。 平成28年度の利用実績は、 一般相談 9,112件 (認知症7,848件、知的障害369件、精神障害717件 その他178件) 専門相談 55回 136件 日常生活自立支援事業 契約事業 94件 (認知症69件、知的障害10件 精神障害10件、その他5件)	継続	一般相談 10,593件 認知症 7,626件 知的障害 1,375件 精神障害 944件 その他 648件 専門相談 51回 136件 日常生活自立支援事業 契約事業 116件 (内訳) 認知症高齢者 85件 知的障害者 16件 精神障害者 11件 その他 4件	一般相談 10,724件 認知症 7,648件 知的障害 1,173件 精神障害 1,074件 その他 829件 専門相談 51回 128件 日常生活自立支援事業 契約件数 123件 (内訳) 認知症高齢者 88件 知的障害者 16件 精神障害者 15件 その他 4件	地域ケア推進課
11	市民後見人養成	親族や専門職(弁護士等)以外で、後見業務を担う「市民後見人」の候補者を、区・権利擁護センターが共同して養成。 平成28年度は、独自の市民後見人養成講座を開催し、修了者43人、選考通過者6人。 ※選考通過者は平成29年度より権利擁護センターで実施される専門研修・実習へ進み、養成課程で一定以上の実績と能力を認められた者について、市民後見人候補者として登録予定。 受任 2件	継続	平成28年度より権利擁護センターと共同で独自の市民後見人養成講座を開催。 令和3年度も、市民後見人(社会貢献型後見人)養成実習者(後見メンバー)を対象に、フォローアップ研修を実施した。 開催回数4回 受講者 12名 市民後見人(後見活動メンバー)の登録 15名 受任 法人後見1件 後見監督3件	平成28年度より権利擁護センターと共同で独自の市民後見人養成講座を開催。 令和4年度も、市民後見人(社会貢献型後見人)養成実習者(後見メンバー)を対象に、フォローアップ研修を実施した。 開催回数2回 受講者 10名 市民後見人(後見活動メンバー)の登録 14名 受任 法人後見1件 後見監督6件	地域ケア推進課

(2) 情報バリアフリー化の推進

① 情報提供の充実

《視覚障害者対象サービス》

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
12	点字広報と声の広報	区報の点字版、デージー版、CD、カセットテープを作成するほか、音声データをホームページで公開。 毎月1・11・21日及び特集号発行。 平成28年度の実績 38号(通常号36号、特集号2号) 点字版各44部 声の広報各99部	継続	こうとう区報(毎月1・11・21日及び特集号発行)の点字版及びカセットテープ・デージー版・CD作成。音声データのホームページでの公開。 39号(通常号36号、特集号3号) 点字版 各35部 声の広報 各85部	こうとう区報(毎月1・11・21日及び特集号発行)の点字版及びカセットテープ・デージー版・CD作成。音声データのホームページでの公開。 38号(通常号36号、特集号2号) 点字版 各35部 声の広報 各85部	広報広聴課
13	声の区議会だより	区議会だよりのデージー版、CD、カセットテープを作成するほか、音声データをホームページで公開。 平成28年度の実績 デージー版 定例号 1部×4回 臨時・新年号 1部×2回 CD・カセット 定例号 2部×4回 臨時・新年号 1部×2回	継続	区議会だよりのデージー版、CD版、カセットテープ版を作成。音声データのホームページでの公開。 ◎デージー版 定例号 1枚×4回 臨時・新年号 1枚×2回 ◎CD版 定例号 2枚×4回 臨時・新年号 1枚×2回 ◎カセット版 定例号 2本×4回 臨時・新年号 1本×2回	区議会だよりのデージー版、CD版、カセットテープ版を作成。音声データのホームページでの公開。 ◎デージー版 定例号 1枚×4回 臨時・新年号 1枚×2回 ◎CD版 定例号 2枚×4回 臨時・新年号 1枚×2回 ◎カセット版 定例号 2本×4回 臨時・新年号 1本×2回	区議会事務局
14	点字・音訳による選挙のお知らせ	視覚障害者で希望される方へ点字、音訳による「選挙のお知らせ」や点字シールを貼った「投票所入場整理券」を郵送。 平成28年7月執行 参議院議員選挙・東京都知事選挙 点字版 37人 音訳版 75人 点字シール付投票所入場整理券 36人	継続	視覚障害者で希望される方へ点字、音訳による「選挙のお知らせ」や点字シールを貼った「投票所入場整理券」を郵送。 令和3年7月執行 東京都議会議員選挙 点字版 23人 音訳版 61人 点字シール付投票所入場整理券 28人 令和3年10月執行 衆議院議員選挙 点字版 22人 音訳版 58人 点字シール付投票所入場整理券 28人	視覚障害者で希望される方へ点字、音訳による「選挙のお知らせ」や点字シールを貼った「投票所入場整理券」を郵送。 令和4年7月執行 参議院議員選挙 点字版 18人 音訳版 57人 点字シール付投票所入場整理券 31人	選挙管理委員会事務局
15	点訳等サービス	日常生活上必要とする情報の点訳、墨訳(点字を文字に訳す)または対面朗読のサービス。 平成28年度の実績は、48件。	継続	57件 (一般15件、公的42件)	60件 (一般13件、公的47件)	障害者施策課
16	点訳サービス	視覚障害者を対象に資料を点訳。 平成28年度の実績(点字資料受入件数)は、28件。	継続	17件	5件	江東図書館

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
17	対面朗読サービス	活字で書かれた資料を読むことが困難な方たちのために、図書館から依頼した音訳者が対面で資料を読むサービス。 平成28年度の利用実績は、延べ529人 1,714時間。	継続	延べ48人 112時間	延べ149人 442時間	江東図書館
18	録音図書の作成	図書等の墨字資料を、CDやカセットテープに録音して録音図書を作成。 平成28年度の実績は、46タイトル。	継続	36タイトル	39タイトル	江東図書館
19	録音図書等の貸出	録音図書・点字図書・市販CD・カセットテープを、郵送にて貸出。 平成28年度の貸出総合計は、4,156点(デジジー含む)。	継続	2,440件	2,440件	江東図書館
20	声の新刊案内	図書館で新たに購入した図書・CD・カセットテープ、全国の図書館で新しく作成した録音・点字図書の案内を録音し、郵送してお知らせ。 平成28年度の実績は、4種類計22回発行。	継続	4種類 22回発行	4種類 22回発行	江東図書館
21	点字図書の給付	点字図書を一般図書価格相当額で給付。 平成28年度の実績は、8件。	継続	6件	2件	障害者支援課
22	大活字本の貸出	視力障害者や高齢者のために、一般より大きめの活字で印刷された図書を貸出し。 平成28年度の実績は、13,530冊。	継続	貸出数 13,091冊	貸出数 15,111冊	江東図書館

《聴覚障害者対象サービス》

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
23	手話通訳者・要約 筆記者の派遣	区が主催する説明会等で手話通訳者・要約筆記者を配置し、聴覚障害者へ情報を伝達。	継続	継続実施 (No.30～31を参照)	継続実施 (No.30～31を参照)	障害者施策課
24	図書館予約資料 到着のメール・ファ クスによる通知	図書館資料をインターネット予約した方に、メールやファクスで、予約資料の取置きについて通知。	継続	継続実施	継続実施	江東図書館
25	字幕付ビデオ・ DVDの貸出	図書館にて、日本語字幕付の邦画ビデオ、字幕表示機能付DVDを貸出し。	継続	継続実施	継続実施	江東図書館
26	こうどう 安全安心 メール	携帯電話またはパソコンから事前登録していただき、江東区内の不審者情報や、ひったくり、空き巣、振り込め詐欺等の各種防犯対策情報や、地震等の災害、各種気象警報、区からの防災情報等をメールにて配信。	継続	令和4年3月末現在 登録者数 32,806件	令和5年3月末現在 登録者数 32,568件	危機管理課

② 情報通信機器の活用促進

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
27	障害者向け 情報通信機器の 取得への助成	日常生活用具として、福祉電話の貸与、ファクス・視覚障害者用ポータブルレコーダーを給付。 平成28年度の実績は、 福祉電話貸与:34件、ファクス:12台、視覚障害者用ポータブルレコーダー:14台。	継続	福祉電話貸与 19件 ファクス 14台 視覚障害者用ポータブルレコーダー 8台	福祉電話貸与 19件 ファクス 10台 視覚障害者用ポータブルレコーダー 6台	障害者支援課
28	障害者向け パソコン講習会	障害者向けのパソコン講習会を開催。 平成28年度の開催実績は、 障害者福祉センター 年32回 延べ164人 地域活動支援センター 年83回 延べ208人	継続	◎障害者福祉センター 年26回 延べ50人 ◎ロータス 年54回 延べ88人	◎障害者福祉センター 年24回 延べ44人 ◎地域活動支援センター (ロータス、ステップ) 年158回 延べ836人	障害者施策課
29	拡大読書機・ 音声拡大読書機 の設置	通常の活字資料の利用が困難な方に、文字を拡大する機器、文字を音声で読み上げる機器を図書館内に設置し、資料の利用を促進。	継続	江東図書館に 各1台設置	江東図書館に 各1台設置	江東図書館

(3)コミュニケーション支援の充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
30	手話通訳者派遣 (再掲)	聴覚障害者または言語障害者、身体障害者団体に手話通訳者を派遣。 平成28年度の実績は、 社会福祉協議会1,788件、 東京手話通訳等派遣センター197件。	継続	社会福祉協議会委託 1,733件 東京手話通訳等派遣センター委託 218件	社会福祉協議会委託 1,874件 東京手話通訳等派遣センター委託 248件	障害者施策課
31	要約筆記者派遣 (再掲)	聴覚障害者等に要約筆記者を派遣。 平成 28 年度の実績は、 東京手話通訳等派遣センター88件 (広域派遣除く)。	継続	東京手話通訳等派遣センター委託 33件 (広域派遣除く)	東京手話通訳等派遣センター委託 42件 (広域派遣除く)	障害者施策課
32	手話通訳者の 窓口配置	区役所に手話通訳者を配置。 月～金曜 2人配置	継続	継続実施	継続実施	障害者支援課
33	手話通訳者・ 協力員養成	手話通訳者及び協力員を養成。 平成28年度の実績は、通訳者55人、 協力員登録者181人。	継続	手話通訳者 54人 登録者 17人	手話通訳者 52人 登録者 14人	障害者施策課
34	公衆ファクスの 設置	障害者福祉センターに、公衆ファクスを設置。	継続	継続実施	継続実施	障害者施策課
35	同行援護	視覚障害により移動に著しい困難を有する方の外出時に同行し、代筆・代読など外出先で必要な視覚的情報の支援等を実施。	継続	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課

2 自立生活の支援

(1) 訪問系サービス等の充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
36	居宅介護 (ホームヘルプ)	ホームヘルパーによる介護や家事など日常生活の支援。	継続	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
37	重度訪問介護	重度の肢体不自由者や重度の知的障害、精神障害により、行動上著しい困難を有する障害者で常時介護を要する方に、自宅で介助や外出時の移動支援を総合的に提供。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
38	重度障害者等包括支援	常時介護が必要な重度の方に、居宅介護等複数のサービスを包括的に行う。	継続	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
39	重度障害者等在宅リハビリテーション支援事業	在宅の重度障害者等に自宅でできるリハビリを実施してもらい、日常生活の保持、活動の増進を図る。	継続	20人	30人	障害者支援課
40	同行援護 (再掲)	視覚障害により移動に著しい困難を有する方の外出時に同行し、代筆・代読など外出先で必要な視覚的情報の支援のほか、排せつ・食事の介護など外出する際に必要となる援助を行う。	継続	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
41	行動援護	知的障害や精神障害により行動上著しい困難を有する方に、介助や外出時の移動中の介護などを行う。	継続	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
42	重度脳性麻痺者介護	20歳以上の身体障害1級の脳性麻痺者で単独で屋外活動が困難な方に、家族を介護人とした支援を行う。 平成28年度の実績は、29人。	継続	18人	17人	障害者支援課
43	在宅難病患者訪問相談事業	在宅難病患者及びその家族が抱える療養上の問題に対し、理学療法士による訪問リハビリを行っている。また、保健相談所の保健師等が訪問し、相談指導を実施。	継続	在宅難病患者延訪問数 看護師 222回 理学療法士 47回 保健師 103回	在宅難病患者延訪問数 看護師 239回 理学療法士 44回 保健師 143回	保健予防課
44	出張調髪サービス	重度の障害者で店舗での調髪ができない方に、調髪サービスを提供。 平成28年度の実績は、265人(延べ回数1,015回)。	継続	280人 (延べ980回)	283人 (延べ982回)	障害者支援課
45	寝具乾燥消毒・水洗い	重度の障害者で寝たきり、または常時失禁状態で布団を思うように干せない方に、乾燥消毒は年10回、汚れ落とし及び水洗いは年1回を行う。 平成28年度の実績は、32人。	継続	44人	49人	障害者支援課
46	ごみ出しサポート事業	障害者や高齢者等で、ごみを集積所まで持ち出すことが困難で、身近な人の協力を得ることができない世帯を対象に戸別収集を実施。 平成28年度の実績は、643件。	継続	819件 (年度末現在)	869件 (年度末現在)	清掃事務所

(2) 日中活動及び居住支援の充実

① 日中活動系サービスの充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
47	生活介護	常時介護が必要な方に、入浴、排せつ、食事の介護や創作活動の機会を提供。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
48	療養介護	医療及び常時介護が必要な方で、病院等への入院による医学的管理の下、機能訓練や療養上の管理、看護、介護を提供。	継続	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
49	自立訓練	通所による生活訓練や機能訓練の機会を提供。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
50	地域活動支援センター	創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流等を行う施設。 平成29年4月現在、区内に4か所設置。	継続	地域生活支援事業の実績報告を参照	地域生活支援事業の実績報告を参照	障害者施策課
51	障害者通所支援施設管理運営事業	在宅の障害者及び特別支援学校の卒業生のための、社会的自立の促進を目的とした施設(区立)の管理運営。 生活訓練などを通じて日常生活能力の向上を図る「生活介護」の施設が3か所(塩浜福祉園、東砂福祉園、亀戸福祉園)、企業就労に向けた支援を行う「就労継続支援(B型)」が1か所(あすなる作業所)、「生活介護」と「就労継続支援(B型)」を併せ持った施設が1か所(第二あすなる作業所)。	継続	新体系継続 (別紙「施設一覧」参照)	新体系継続 (別紙「施設一覧」参照)	障害者施策課
52	障害者日中活動系サービス推進事業	良質な施設サービスの提供を確保するため、障害者総合支援法に定められた生活介護、自立訓練や就労移行・就労継続支援の障害福祉サービスを提供する社会福祉法人等に事業の運営費の一部を補助。 平成28年度の助成対象施設は、30施設。	継続	31施設	31施設	障害者施策課

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
53	障害福祉サービス事業運営費助成	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業を区内で運営する社会福祉法人等に対し、区で独自に運営費の一部を助成することにより、良質な施設サービスの提供と施設の安定的な運営を確保。	継続	37か所	37か所	障害者施策課
54	心身障害者入所措置	18歳以上の障害者で、やむを得ない事由により介護給付費等の支給を受けることが著しく困難であると認めるとき、障害者支援施設等に入所させて、その更生援護を行う。 平成28年度の実績は、 身体障害者 延べ6人 知的障害者 延べ0人 精神障害者 延べ0人	継続	身体障害者 延べ 0人 知的障害者 延べ 0人 精神障害者 延べ 0人	身体障害者 延べ 0人 知的障害者 延べ 0人 精神障害者 延べ 0人	障害者支援課
55	生活指導教室(デイケア)	精神障害者がレクリエーション、スポーツ等を通して集団生活のルールを学び、生活リズムの確立を図り、社会参加の動機づけを行う。保健相談所で実施。 平成28年度の実績は、 精神障害者:200回 1,065人 酒害:95回 251人	継続	精神障害者 178回 757人 酒害 86回 201人	精神障害者 199回 990人 酒害 96回 191人	保健予防課
56	精神障害者地域生活支援センター事業	専門職員(精神保健福祉士等)を配置し、医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整、地域住民ボランティア育成、障害に対する理解促進を図るための普及啓発等を実施。 平成28年度利用者数は、延べ33,368人。	継続	利用者数(延べ) 26648名	利用者数(延べ) 25542名	障害者施策課

② 居住系サービスの充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
57	共同生活援助 (グループホーム)	就労や作業所等を利用している身体・知的・精神障害者で、地域で共同生活を営む方に、夜間や休日に相談や日常生活の援助を行う。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
58	施設入所支援	施設入所者を対象とした入浴、排せつ、食事等の介護、生活に関する相談、助言等日常生活上の支援を行う。	継続	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
59	精神障害者グループホーム等への助成	精神障害者グループホームへ運営費を助成。 平成28年度の実績は、5施設利用者数35人(延べ35人)。	継続	4施設	6施設	障害者支援課
60	知的障害者グループホーム等援護	知的障害者グループホームの利用委託及び家賃助成。 平成28年度の実績は、家賃助成:延べ875件 運営費助成:延べ24件	継続	家賃助成:延べ1,203件 運営費助成:0件	家賃助成:延べ1,331件 運営費助成:0件	障害者支援課
61	リバーハウス 東砂	社会的自立意欲のある障害者に対して、生活の場を提供し、地域社会において自立した生活ができるよう支援することを目的とした施設。 グループホーム定員7人 利用期間3年。	充実	共同生活援助 利用者 7人 短期入所 契約者数 323人 利用延べ人数 356人	共同生活援助 利用者 7人 短期入所 契約者数 368人 利用延べ人数 466人	障害者施策課
62	心身障害者生活寮 運営費助成	心身障害者の生活寮(グループホーム)運営費の助成。	継続	2施設	2施設	障害者施策課
63	自立生活援助	施設入所支援や共同生活援助を受けていた障害者の居宅における自立した日常生活を営むうえでのさまざまな課題に対応するため、巡回訪問や相談を実施。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
64	住宅あっせん	相談窓口を設置し、高齢者や障害者等に対する住宅のあっせん、契約金及び家賃債務保証に係る保証料の一部等を助成。	継続	申請件数 109件 成約件数 17件	申請件数 87件 成約件数 15件	住宅課
65	居住サポート 支援	単身生活を希望する障害者に対して、安心して自立した生活ができるように入居支援員を配置し、民間賃貸住宅等への入居支援及び定着支援を実施。	充実	2箇所	2箇所	障害者施策課

(3) 移動支援及び福祉用具の利用支援

① 移動に関わる支援

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
66	移動支援	屋外での移動が著しく困難な障害のある方に、外出のための支援を行う。	充実	地域生活支援事業の実績報告を参照	地域生活支援事業の実績報告を参照	障害者支援課
67	同行援護 (再掲)	視覚障害により移動に著しい困難を有する方の外出時に同行し、代筆・代読など外出先で必要な視覚的情報の支援や、排せつ・食事の介護など外出する際に必要となる援助を行う。	継続	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
68	身体障害者補助犬の給付 (都制度)	視覚障害者、肢体不自由者及び聴覚障害者の自立と社会参加を促進するため、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)を給付。	継続	0人	1人	障害者支援課
69	自動車改造費助成	重度肢体不自由者が就労等に伴い自動車を購入する場合に、自動車の改造費として133,900円を限度に助成。 平成28年度の実績は、6人。	継続	3人	3人	障害者支援課
70	自動車運転教習費助成	障害者が自動車運転免許を取得する場合に、教習費の一部を助成。 平成28年度の実績は、2人。	継続	3人	7人	障害者支援課
71	リフト付福祉タクシー運行	一般の交通手段を利用することが困難な重度障害者等のため、車いすやストレッチャーに乗りながら乗降できるリフト付タクシーを運行。 平成28年度の実績は、 登録者1,285人 (障害者300人、高齢者985人) 利用延人数6,800人 (障害者1,788人、高齢者5,012人)	継続	登録者数 1,475人 障害者 354人 高齢者1,121人 利用延べ人数 7,542人 障害者2,417人 高齢者5,125人	登録者数 1,522人 障害者 354人 高齢者1,168人 利用延べ人数 7,589人 障害者2,300人 高齢者5,289人	障害者支援課
72	福祉タクシー利用支援	身体障害者手帳1級または視覚障害1・2級、下肢・体幹機能障害1～3級、愛の手帳1・2度の方に、タクシー利用券を配付。 平成28年度の利用者は、6,552人。	継続	6,366人	6,245人	障害者支援課
73	自動車燃料費助成	身体障害者手帳1級または視覚障害1・2級、下肢・体幹機能障害1～3級、愛の手帳1・2度の方の日常生活に供される自動車に必要な燃料費の一部を助成。福祉タクシー利用券との重複不可。 平成28年度の実績は、570人。	継続	489人	480人	障害者支援課

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
74	都営交通 無料乗車券の 発行 (都制度)	身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方に、都バス、都営地下鉄、都電、日暮里・舎人ライナーの無料乗車券を発行。	継続	2,581人	2,892人	障害者支援課 (保健予防課)
75	有料道路 障害者割引制度 (国制度)	身体障害者手帳を持つ方が自ら運転する場合、または重度の身体障害者・知的障害者を乗せて介護者が運転する場合に、有料道路を通行する際に利用する料金の割引を受け、移動の利便性を図る。	継続	1,187件	1,184件	障害者支援課

② 福祉用具の利用支援

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
76	補装具費の支給	身体障害者に補装具費を支給。 平成28年度の実績は、1,080件。	充実	818件	865件	障害者支援課
77	心身障害者 日常生活用具 給付等	身体障害者・知的障害者・難病患者に日常生活用具を給付または貸与。 平成28年度の実績は、314件。	継続	地域生活支援事業の実績報告を参照	地域生活支援事業の実績報告を参照	障害者支援課
78	人工肛門用 装具等 購入費助成	人工肛門・ぼうこうを造設し身体障害者手帳を申請した方に手帳が交付されるまでの間、ストーマ装具購入費を助成。 平成28年度の実績は、20人。	継続	※令和2年度をもって事業廃止。	※令和2年度をもって事業廃止。	障害者支援課
79	紙おむつの支給	身体障害者1・2級、愛の手帳1・2度で寝たきりまたは失禁状態の方に紙おむつを支給。 平成28年度の実績は、 現物助成399人、現金助成(病院指定のおむつの場合)50人。	継続	現物助成 482人 現金助成 38人	現物助成 500人 現金助成 34人	障害者支援課

(4) 福祉サービスの質の向上

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
80	第三者評価事業の実施	サービスの質の向上を図るため、第三者評価事業を実施。 平成28年度実績 公設民営障害児通所支援施設1か所 民設民営障害者通所支援施設9か所 民設民営障害児通所支援施設2か所	継続	○公設民営障害者通所支援施設等 5か所 ○公設民営障害児通所支援施設 1か所 ○民設民営障害者通所支援施設 7か所 ○民設民営障害児通所支援施設 3か所 ○民設民営共同生活援助事業所 0か所	○公設民営障害者通所支援施設等 1か所 ○公設民営障害児通所支援施設 1か所 ○民設民営障害者通所支援施設 10か所 ○民設民営障害児通所支援施設 5か所 ○民設民営共同生活援助事業所 0か所	障害者施策課
80の2	指導検査の実施	利用者保護及び利用者の視点に立った障害福祉サービス等の提供並びに質の向上、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のための体制整備を図ることを目的として調査・指導検査を実施し、適正な事業運営と自立支援給付の適正化を図る。 令和元年度より実施。	充実	○障害児通所支援事業 3か所 ○障害福祉サービス事業(訪問系・日中活動系・居住系) 16か所 ○計画相談支援事業 1か所 ○地域生活支援事業(移動支援事業) 3か所	○障害児通所支援事業 11か所 ○障害福祉サービス事業(訪問系・日中活動系・居住系) 15か所 ○計画相談支援事業 3か所 ○地域生活支援事業(移動支援事業) 3か所	障害者施策課
81	難病対策地域協議会	専門医、医師会、訪問看護ステーション等の関係機関及び関係者との連携を図り、難病患者のより良い療養環境づくりのために開催。 平成28年度より難病地域ケア連絡会が難病対策地域協議会へ移行。	継続	協議会開催 1回 〔主な議題〕 ・保健相談所管内における難病患者の状況について ・各関係機関取り組み報告について	協議会開催 1回 〔主な議題〕 ・保健相談所管内における難病患者の状況について ・各関係機関取り組み報告について	保健予防課
82	障害者計画・障害福祉計画推進協議会	障害者計画等の進行管理等を行うための協議会を設置し、必要なサービスを効果的・効率的に提供するための施策の推進や障害福祉サービスの向上を目指す。 平成28年度は3回開催し、次期計画策定のために「地域生活に関する調査(障害者実態調査)」を実施。	継続	協議会開催 2回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回目はオンライン会議システムを併用、2回目は書面開催) 〔主な議題〕 ・江東区障害者計画・第6期江東区障害福祉計画・第2期江東区障害児福祉計画について ・江東区障害者計画の進捗状況及び江東区障害福祉計画・江東区障害児福祉計画の実績報告について ・障害者実態調査について	協議会開催 3回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1、2回目はオンライン会議システムを併用) 〔主な議題〕 ・江東区障害者計画の進捗状況及び江東区障害福祉計画・江東区障害児福祉計画の実績報告について ・障害者実態調査について	障害者施策課

No.

事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
83 地域自立支援協議会 (再掲)	障害児・者が地域で自立した生活を営むことができる社会の実現に向け、相談支援体制をはじめとする福祉サービスの連携や支援体制に関して協議する協議会で、全体会と5つの専門部会で構成されている。 今後の福祉施策の展開に対応し、機能拡充していく。	充実	協議会開催 2回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回目はオンライン会議システムを併用) 〔主な議題〕 ・障害者優先調達推進法に基づく調達実績について ・指定特定相談支援事業について	協議会開催 2回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン会議システムを併用) 〔主な議題〕 ・障害者優先調達推進法に基づく調達実績について ・指定特定相談支援事業について	障害者施策課
84 精神障害者支援のための協議の場の設置	保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置し、精神障害者への支援の充実を図る。	充実	・地域自立支援協議会精神部会にて保健・医療・福祉関係者による精神障害者への支援について協議。 ・江東区地域精神保健福祉連絡協議会の中で精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築のための協議の場を設置	・地域自立支援協議会精神部会にて保健・医療・福祉関係者による精神障害者への支援について協議。 ・江東区地域精神保健福祉連絡協議会の中で精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築のための協議の場を設置	障害者施策課 保健予防課 (障害者支援課)
85 医療的ケア児支援のための協議の場の設置	保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関が連携を図るための協議の場を設置し、医療的ケア児への支援の充実を図る。	充実	「江東区医療的ケア児支援連携会議」を1回開催。 【検討内容】 ○江東区における医療的ケア児の現状について ○関係機関等の取組 ○医療的ケア児及びその家族へのニーズ調査について	「江東区医療的ケア児支援連携会議」を2回開催。 【検討内容】 ○江東区における医療的ケア児の現状について ○関係機関等の取組 ○訪問看護ステーション事業所への実態アンケートについて	障害者支援課

(5) 経済的自立の支援

〔各種手当〕

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
86	心身障害者(難病)福祉手当(区制度)	身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1～3度、脳性麻痺・進行性筋萎縮症の方は月額15,500円、身体障害者手帳3級・愛の手帳4度の方は月額7,750円、難病(医療費助成対象者)の方は月額15,500円。施設に入所の方や所得制限を超える方等は受給できない。 平成28年度の支給実績は、 重 度(15,500円)4,430人 中 軽 度(7,750円)1,986人 難 病(15,500円)1,973人	継続	重 度 4,171人 中 軽 度 1,904人 難 病 1,834人	重 度 4,081人 中 軽 度 1,899人 難 病 1,870人	障害者支援課
87	特別障害者手当(20歳以上の方)(国制度)	身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1・2度でかつ障害が重複している方、これと同程度の疾病、精神障害の方(診断書により判定)。月額26,830円(平成29年度は26,810円)。施設に入所の方や所得制限を超える方等は受給できない。 平成28年度の受給者数は、497人。	継続	受給者数499人	受給者数509人	障害者支援課
88	障害児福祉手当(20歳未満の方)(国制度)	身体障害者手帳1・2級程度の方、愛の手帳1・2度程度の方、これと同程度の精神障害、疾病の方(診断書等により判定)。月額14,600円(平成29年4月からは14,580円)。施設に入所の方や所得制限を超える方は受給できない。 平成28年度の受給者数は、183人。	継続	受給者数177人	受給者数183人	障害者支援課
89	重度心身障害者手当(都制度)	愛の手帳1・2度程度で著しい精神症状または障害者手帳2級程度以上の方、重度の肢体不自由であって、かつ座っていることが困難な方。月額60,000円。施設入所、病院に3か月以上入院の方、所得制限を超える方は受給できない。 平成28年度の受給者数は、354人。	継続	333人	受給者数331人	障害者支援課
90	特別児童扶養手当(20歳未満の児童を養育している方)(国制度)	身体障害者手帳1～3級、愛の手帳1～3度、長期間安静を要する症状または精神の障害により日常生活に著しい制限を受ける児童を養育している方に支給。月額:重度51,500円、中度34,300円。児童が施設に入所している方、児童が障害の年金を受けている方や所得制限を超える方は受給できない。 平成28年度の支給対象406世帯。	継続	月額(令和3年4月～) 重 度 52,400円 中 度 34,900円 支給対象世帯 369世帯	月額(令和3年4月～) 重 度 52,400円 中 度 34,900円 支給対象世帯 375世帯	こども家庭支援課

No.

	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
91	児童扶養手当 (養育者へ支給) (国制度)	18歳に達した年度の末日までの児童(20歳未満で中度以上の障害を有する児童を含む)を養育しているひとり親(父、母または養育者)に支給する手当。父または母に重度の障害がある場合は、ひとり親に準じて対象になる。第一子で月額42,330円～9,990円、第二子で10,000円～5,000円、第三子で6,000円～3,000円の加算。手当額は所得に応じて変動。所得制限あり。 平成28年度の支給対象2,963世帯。	継続	月額(令和3年4月～) 第一子 43,160円～10,180円 第二子 10,190～5,100円の加算 第三子以降 6,110～3,060円の加算 支給対象世帯 2,360世帯	月額(令和4年4月～) 第一子 43,070円～10,160円 第二子 10,170～5,090円の加算 第三子以降 6,100～3,050円の加算 支給対象世帯 2,206世帯	こども家庭支援課
92	障害手当 (区制度)	身体障害者手帳1・2級程度、愛の手帳1～3度程度、脳性麻痺または進行性筋萎縮症の児童を養育している方に支給。1人につき障害手当(月額15,500円)を支給。児童が施設に入所している方、一定以上の所得がある方は受けられない。 平成28年度の支給対象児童数は、473人。	継続	児童1人につき、 月額15,500円を支給。 支給対象児童数 353人	児童1人につき、 月額15,500円を支給。 支給対象児童数 283人	こども家庭支援課
93	育成手当 (区制度)	18歳に達した年度末日までの児童を養育するひとり親(母、父または養育者)に支給する手当。父または母に重度の障害がある場合は、ひとり親に準拠して対象となる。児童1人につき額13,500円。所得制限あり。 平成28年度の支給対象児童数 6,227人。	継続	児童1人につき、 月額13,500円を支給。 支給対象児童数 4,745人	児童1人につき、 月額13,500円を支給。 支給対象児童数 4,473人	こども家庭支援課

【年金】

	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
94	障害基礎年金	原則として、国民年金の被保険者期間中や、20歳前の病気やけがで、国民年金法で定められた1級・2級の障害状態になったときに支給(納付要件あり)。	継続	1級は月額81,343円 2級は月額65,075円 令和4年3月末受給者数 4,986人	1級は月額81,020円 2級は月額64,816円 令和5年3月末受給者数	区民課
95	特別障害給付金	国民年金任意加入対象者であった学生及び被用者等の配偶者が、国民年金に加入していなかった期間に障害の原因になった傷病の初診日があるため、障害年金を受けられない無年金者に支給。	継続	1級は月額52,450円 2級は月額41,960円 令和4年3月末受給者数 26人	1級は月額52,300円 2級は月額41,840円 令和5年3月末受給者数	区民課

【その他】

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
96	高額障害福祉サービス費給付事業	<p>①同じ世帯に障害福祉サービスを利用する方が複数いる場合、または、障害福祉サービスを利用している人が、補装具や介護保険サービス、障害児通所支援サービスを利用している場合は、利用者負担を軽減するため、基準額を超えて支払った負担額を給付費として支給。</p> <p>平成28年度の実績は、延べ430人。</p> <p>②低所得、生活保護の65歳以上で、65歳になるまでに5年以上介護保険サービスに相当する障害福祉サービスの支給決定を受けていた人が、障害福祉サービスに相当する介護保険サービスの利用した場合、利用者負担を軽減するため、負担額を給付費として支給。</p> <p>令和4年度より実施。</p>	継続	<p>①延297人</p> <p>②-</p>	<p>①延べ158人</p> <p>②延べ884人 ※平成30年度～令和3年度利用分を支給。</p>	障害者支援課
97	東京都心身障害者扶養共済(都制度)	心身障害者を扶養している保護者が掛金を納めて、保護者に万一のことがあったときに、心身障害者へ終身一定額の年金を給付する任意加入の制度。	継続	45人	49人	障害者支援課

(6)新たな地域生活支援の拠点の整備

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
98	多機能型入所施設の整備	グループホームのバックアップ機能を持ち、区内の地域支援ネットワークの要として、障害者が日常生活支援を受けながら、地域生活へ移行することを支援する、短期入所、日中活動の場も併設した障害者多機能型入所施設の整備を推進。	充実	整備・運営事業者とともに関係機関との調整を行い、工事に着手。	令和5年2月末竣工。令和5年4月1日より運営を開始。	障害者施策課
99	障害者グループホーム等整備事業	障害者が住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるように、共同生活を営む住居で日常生活支援を行う障害者グループホームの整備を推進。	充実	実績なし	実績なし	障害者施策課

(7) 家族・介護者への支援

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
100	短期入所 (ショートステイ)	障害者を自宅で介護する方が病気の場合などに、短期間、夜間も含め、施設において入浴、排せつ、食事の介護等を行う。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
101	緊急一時保護 (施設利用)	「リバーハウス東砂」で実施。 障害者を介護している家族等が、病気、事故、出産、冠婚葬祭等で介護できないときに、障害者を一時保護。 利用は1回につき2泊3日以内 平成28年度の利用実績は、延べ338人、延べ794日	充実	延べ15人 延べ33日	延べ22人 延べ80日	障害者施策課
102	緊急一時保護 (区制度)	障害者を介護している家族等が、病気、事故、出産、冠婚葬祭等で介護できないときに、障害者を一時保護。 一時保護の方法 ①区が委託する障害者団体での保護(日帰り、宿泊) ②区が委託するホームヘルパーを派遣(日帰り、宿泊) 平成28年度の利用実績は、 ①団体委託:延べ482日 ②ヘルパー派遣:0日	継続	団体委託:延べ163日 ヘルパー派遣:0日	団体委託:延べ194日 ヘルパー派遣:0日	障害者支援課
103	在宅難病患者 一時入院事業 (都制度)	在宅の難病患者を介護する方が、病気、事故等により、一時的に介護困難になった場合、難病患者が一時入院するため、都内の病院に病床を確保。保健相談所対応。	継続	実人数 1人 延べ 2人	実人数 4人 延べ 6人	保健予防課
104	知的障害者 ショートステイ 推進事業	家庭での介護が困難になった知的障害者を一定期間保護するため、入所施設の短期入所枠を確保。 平成28年度の実績は、延べ142日(4人)。	継続	延べ101日(2人)	延べ0日	障害者支援課

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
105	ミドルステイ	家庭における介護が困難となった心身障害者を施設に一定期間保護。 平成28年度の実績は、延べ199日(2人)。	継続	延べ98日(3人)	延べ147日(3人)	障害者支援課
106	重症心身障害児(者)レスパイト支援事業	家族等の介護負担を軽減するため、日常的に医療ケアが必要な重症心身障害児(者)の自宅に看護師を派遣し、一定時間の医療的ケア及び療養上の介助を行う。	充実	年度末登録者数 65人(新規16人、廃止6人) 総利用回数 404回	年度末登録者数 70人(新規12人、廃止7人) 総利用回数 431回	障害者支援課
107	障害児(者)の親のための講座	障害児・者の発達、成長、自立のための学習について支援し、地域における子育て支援のネットワークづくりを推進するための課題別講座を開催。全5回。 平成28年度は、「より良い地域生活を送るために」のテーマで実施し、延べ157人が参加	継続	①就労後における発達障害者の自立ー独立 ②ALSOK ビジネスサービス株式会社の障害者雇用への取り組み ③乳幼児の発達が気になるお子さんの子育て ④先輩保護者による子育て体験談～中学・高校相当年齢の子との向き合い方・今後の進路選択～ ⑤障害のある人の親なきあと～お金と住まいと暮らし方～ 全5回 延べ人数202名	①株式会社メロフルールの知的障害者雇用 ②きょうだい児をきっかけに考える家族支援 ③発達障害児の子育て体験談～学校・受験への心構え～ ④障害児(者)への性教育～心とからだの主人公に～ ⑤わが子の入所と親子関係 全5回 延べ人数285名	障害者施策課
108	裁判員制度参加支援事業	障害者本人または障害者を介護するご家族の方が、裁判員として裁判に参加している期間中に利用する、在宅の障害福祉サービスにかかる利用者負担相当額を助成。	継続	事業継続(実績なし)	事業継続(実績なし)	障害者支援課

3 健康を守る保健・医療の充実

(1) 保健サービスの充実

① 障害者の健康に関する相談及び機能訓練の充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
109	心身障害者施設等健康相談	区内の施設を利用する心身障害者等を対象に、医師による診察と血液検査、尿検査、胸部レントゲン検査、心電図検査、健康相談などを実施。 平成28年度の実績は、67回延べ857人。	継続	14回 延べ755人	14回 延べ734人	障害者施策課
110	機能回復訓練事業	障害者福祉センターで、理学療法士、言語聴覚士による機能訓練を実施。 平成28年度の実績は、432回延べ2,067人。	継続	393回 延べ1,853人	420回 延べ2,030人	障害者施策課
111	高次脳機能障害者支援促進事業	高次脳機能障害者及びその家族等からの相談に応じ、関係機関との連携を図り、適切な支援を提供し、支援を促進。 平成28年度の実績は393件。他に、講演会:2回、リハビリ事業:24回、連絡会4回を開催。	継続	相談件数 330件 専門相談 11件 交流会(11回) 参加者数 延べ50人 リハビリ事業(22回) 参加者数 延べ258人 講演会 1回 23名 連絡会 4回	相談件数 399件 専門相談 7件 交流会(12回) 参加者数 延べ41人 リハビリ事業(23回) 参加者数 延べ257人 講演会 1回 30名 連絡会 3回	障害者支援課
112	難病療養相談(再掲)	難病で治療中または難病の疑いをもって心配している方及びその家族を対象に、患者・家族の療養環境の整備改善のために、専門医、医師会、医師、理学療法士、保健師等が医療相談を保健相談所で行っている。 平成28年度実績は、42回延べ72人。	継続	40回 延べ50人	42回 延べ37人	保健予防課
113	難病医療相談室	難病等特定疾患で治療中の方、病気の心配をされている方とその家族を対象に、毎月1回、専門医を中心とした医療相談を行う(江東区医師会に委託)。	継続	毎月1回実施 継続(変更なし)	毎月1回実施 継続(変更なし)	保健予防課
114	精神保健相談(再掲)	保健相談所で一般精神、思春期、酒害、高齢期に分けて実施。 平成28年度の実績 一般精神:83回 延べ159人 思春期:60回 延べ136人 酒害:96回 延べ313人 高齢精神:28回 延べ48人	継続	一般精神 82回 延べ143人 思春期 57回 延べ122人 酒害 83回 延べ177人 高齢精神 28回 延べ31人	一般精神 83回 延べ583人 思春期 60回 延べ131人 酒害 84回 延べ137人 高齢精神 26回 延べ41人	保健予防課

② 中高年者に対する予防健診などの充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
115	健康診査	がんや心臓病、脳血管疾患と関わりの深い生活習慣病の早期発見、早期治療を目的として、40歳以上の国民健康保険・後期高齢者医療制度の加入者及び生活保護受給者を対象に実施。	継続	52,270人	51,460人	健康推進課
116	がん検診	胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がんの早期発見、早期治療を目的として、各検診対象年齢の区民に実施。	継続	91,859人	90,327人	健康推進課
117	生活習慣病予防健診	保健相談所で30歳から39歳の区民を対象に、尿検査、血圧測定、血液検査などを行い、保健指導、栄養指導及び医師の指導を実施。	継続	受診者 332人	受診者 365人	保健予防課

(2) 医療サービスの充実

① 自立支援医療の実施

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
118	自立支援医療 (更生医療) (育成医療) (精神通院医療)	障害者自立支援法第6条に規定された自立支援給付の一つで、従来の身体障害者の更生医療、障害児の育成医療、精神障害者の精神通院医療が統合されて共通の制度になった医療給付。 平成28年度の実績 更生医療:延べ4,277件 実497人 (生活保護人工透析分 延べ1,797件、実182人分を含む) 育成医療:24件 精神通院医療:6,331人	継続	更生医療 延べ5,102件 実549人 (生活保護人工透析分 延べ2,254件、実166人 含む) 育成医療 12件 精神通院医療 9,532人	更生医療 延べ5,247件 実546人 (生活保護人工透析分 延べ2,026件、実150人 含む) 育成医療 4件 精神通院医療 9,630人	障害者支援課 保健予防課

② 療養介護医療費給付の実施

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
119	療養介護 医療費の支給 (進行性筋萎縮症 療養等給付)	障害者自立支援法第6条に規定された自立支援給付の一つで、療養介護のうち医療に係る部分(療養介護医療)の給付。 進行性筋萎縮症の方に対し、療養とあわせて必要な訓練を行う。 平成28年度の実績は延べ744人	継続	延べ701人	延べ689人	障害者支援課

③ その他の医療サービスの充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
120	心身障害者(児)医療費助成	身体障害者手帳1・2級(内部障害は3級まで)、愛の手帳1・2度の方が健康保険証を使って診療・投薬を受けたときの医療費の自己負担分の一部を助成。一定以上の所得のある方は助成制限あり。 平成28年度の医療証受給者数は、4,178人。	継続	4,135人	4,065人	障害者支援課
121	小児慢性疾患の医療費助成(都制度)	18歳未満の方が、がんやぜんそくなど慢性疾患で医療を受けたときに、各種保険の自己負担分の一部を助成。 平成28年度の実績は、313人。	継続	319人	320人	保健予防課
122	特殊疾病(難病)の医療費助成(都制度)	ベーチェット病などの難病の治療を受けている方に、医療費を助成。 平成28年度の実績は、5,360人。	継続	5,615人	5,744人	保健予防課
123	在宅難病患者医療機器貸与(都制度)	在宅難病患者が必要とする医療機器の貸与を行っている。	継続	7人	7人	保健予防課
124	医療機器貸与者に対する訪問看護事業(都制度)	難病患者の在宅療養に必要な医療機器の貸与に伴う訪問看護師の派遣。	継続	6人	6人	保健予防課

4 ユニバーサルデザインの視点による生活環境の改善

(1) やさしいまちづくりの推進

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
125	ユニバーサルデザイン推進事業	<p>江東区長期計画に位置づけられた、ユニバーサルデザインの視点により、年齢・性別・国籍の違いや、障害の有無等にかかわらず誰もが公平かつ快適に生活できるようにするため、区と区民及び事業者が協働でまちづくりを推進する。</p> <p>区民・区職員が参加をしたユニバーサルデザインまちづくりワークショップを開催するとともに、子どもたちへの意識向上を図るため、子ども向けユニバーサルデザインハンドブックを活用して小学校での出前講座を開催。</p>	<p>継続</p>	<p>区民(障害当事者含)・区職員協働によるUDまちづくりワークショップを開催。小学校等で行う出前講座の新しいプログラムづくりを通して、ユニバーサルデザインの基本的な考え方についての理解を深めた。</p> <p>また、出前講座については、区立学校の4年生児童やその家族に対して、ユニバーサルデザインへの意識を浸透させ、困っている人がいれば自然に手をさしのべる、「心のユニバーサルデザイン」を育むことができた。</p> <p>ワークショップ開催数 8回 出前講座開催校数 25校</p>	<p>区民(障害当事者含)・区職員協働によるUDまちづくりワークショップを開催。ユニバーサルデザインを体験するプログラムづくりを通して、ユニバーサルデザインの基本的な考え方についての理解を深めた。</p> <p>また、出前講座については、区立学校の4年生児童やその家族に対して、ユニバーサルデザインへの意識を浸透させ、困っている人がいれば自然に手をさしのべる、「心のユニバーサルデザイン」を育むことができた。</p> <p>ワークショップ開催数 8回 出前講座開催校数 33校</p>	都市計画課

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
126	選挙における投票所 仮設スロープ等	選挙における投票所に仮設スロープ及び全投票所に車いすを設置。 仮設スロープ設置 平成28年7月執行 参議院議員選挙・東京都知事選挙 57投票所のうち48か所	継続	選挙における投票所に仮設スロープ及び全投票所に車いすを設置。 仮設スロープ設置 令和3年7月執行 東京都議会議員選挙 57投票所のうち42か所 令和3年10月執行 衆議院議員選挙 57投票所のうち42か所	選挙における投票所に仮設スロープ及び全投票所に車いすを設置。 仮設スロープ設置 令和4年7月執行 参議院議員選挙 57投票所のうち41か所	選挙管理 委員会事務局
127	だれでもトイレ 整備事業	老朽化が進んだ公衆便所の改修に合わせ、障害者・高齢者・妊婦・乳幼児を連れている親等が利用しやすい「だれでもトイレ」として整備する。	継続	3か所整備	4か所整備	河川公園課
128	無電柱化事業	電線類の地中化を図り、交通安全や防災機能の向上、町並みの景観形成を図り、安全・安心なまちづくりを進める。	継続	特別区道江166号：電線共同溝詳細設計 仙台堀川公園周辺路線：電線共同溝設置工事	特別区道江166号：占用物件支障移設 仙台堀川公園周辺路線：電線共同溝設置工事	道路課
129	道路改修事業	道路改修時に、歩道をセミフラット型にすることで、バリアフリー化を進める。	継続	(整備延長：796m) 越中島三丁目道路改良工事：290m 塩浜二丁目道路改良工事：230m 東陽七丁目道路改良工事：246m 東陽二丁目道路改良工事：30m	(整備延長：669m) 東陽七丁目道路改良工事：141m 千石一丁目道路改良工事：381m 森下五丁目道路改良工事：147m	道路課

(2)住宅改修・バリアフリー化

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
130	身体障害者 住宅設備 改善給付	日常生活の利便を図るため、その障害者が居住する住宅の設備改善に要する費用を給付。 平成28年度の実績は、32件。	継続	18件	32件	障害者支援課

5 雇用・就労の拡大

(1) 就労支援の充実

① 障害福祉サービスによる支援

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
131	就労移行支援	一般就労に向けて必要な知識及び能力向上のために必要な訓練を行う。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
132	就労継続支援	一般の事業所で就労することが困難な障害者に対して、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練を行う。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
133	就労定着支援	就労に伴う生活面の課題に対応できるよう、事業所・家族との連絡調整等の支援を行う。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課

②区独自の取組み

	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
134	勤労障害者表彰	就業成績が良好な勤労障害者に対して賞状を授与し、勤労意欲の高揚と障害者の就労促進を図る。 平成28年度は10人を表彰。	継続	実績なし ※対象者の募集は実施したが、企業からの推薦なし。	5人表彰	障害者支援課
135	障害者就労支援 庁内実習事業	就労を希望する障害者に対し、区役所及び区の施設において就業体験の機会を提供。 平成28年度は、実施日数86日、参加延べ人数98人。うち、就職者数は2人。	継続	実績なし ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見送った。	実績なし ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見送った。	障害者支援課
136	障害者常設販売 コーナー庁内出店 事業「るーくる」	区役所2階区民ホール及び総合区民センター2階を利用して、区内障害者通所施設による自主生産品等常設販売コーナーを開設し、複数の施設の共同による自主的な取り組み・活動に対して区が支援する。 障害者施設自主生産品のPRと販路拡大により工賃アップを図るとともに、接客及び販売業務を実地訓練することで、企業への就労に結びつくよう支援。	継続	継 続	継 続	障害者支援課
137	更生訓練費 給付事業	就労移行支援事業または自立訓練事業利用者及び身体障害者更生援護施設(身体障害者療護施設を除く)に入所している利用者に対し、更生訓練費を支給し、社会復帰を促進。	継続	地域生活支援事業の実績報告を参照	地域生活支援事業の実績報告を参照	障害者支援課

(2)雇用・就労の場の確保

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
138	障害者雇用に関する企業の理解促進	障害者の雇用拡大について企業にPRして理解を促進するとともに、企業に法定雇用率の達成を促す。	充実	就職者数 68人	就職者数 69人	障害者支援課
139	障害者雇用納付金制度の活用による雇用拡大	障害者雇用納付金制度をPRして障害者雇用の拡大に努める。	充実			障害者支援課
140	職場適応訓練の推進	職場適応訓練制度の活用を宣伝し、訓練終了後の雇用を進める。	充実			障害者支援課
141	ジョブコーチ支援	ジョブコーチによる支援を受け入れる企業の拡大に努める。	充実			障害者支援課
142	江東区障害者就労・生活支援センター	企業への就労支援、社会生活を築くための定着・生活支援の提供。	充実			障害者支援課
143	区職員としての採用	毎年、特別区人事委員会では、身体障害者を対象とした職員採用試験を行っている。 選考合格後、各区で面接を行い、採用を決定する。	充実			継続実施 (令和2年度同様、身体障害者に限らず、知的障害者、精神障害者も対象とした) 江東区オフィスサポーターとして、新たに会計年度任用職員の採用を実施した。

6 地域活動の支援

(1)生涯学習・文化活動の支援

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
144	知的障害者学習支援事業「エンジョイ・クラブ」	学校教育を終了した軽度の知的障害のある就労者を対象として、余暇活動に必要な一般教養、スポーツ、レクリエーション等を実施し、学習活動を支援。	継続	クラブ数4、各クラブ6回程度の活動を実施。 受講生92名 総括・事業企画・余暇活動プログラム作成及び相談を行った。 (障害者施策課で補助執行)	クラブ数4、各クラブ12～13回の活動を実施。 受講生89名 総括・事業企画・余暇活動プログラム作成及び相談を行った。 (障害者施策課で補助執行)	障害者施策課
145	障害者福祉大会の開催	障害者とその家族に芸能等の催しで慰安するとともに、地域住民との交流を図る。年1回開催。	継続	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	3年ぶりに開催。式典、芸能パフォーマンス、お客様コーナーの3部制にて実施。	障害者施策課
146	通所施設でのイベントの開催	通所施設において、区民へのPRや地域との交流の場として、まつりなどのイベントを開催。	継続	各施設で実施判断 (新型コロナウイルス感染拡大防止により中止)	各施設で実施判断 (新型コロナウイルス感染拡大防止により中止)	障害者施策課
147	施設での「おはなし会」の開催	図書館と障害児等の施設が連携した、施設への出張おはなし会の開催等による子どもたちへの読書支援を行うほか、大塚ろう学校城東分教室の聴覚障害児を対象とした「絵本の読み聞かせ」を行っている(城東図書館)。	充実	朗読会 0回 絵本の読み聞かせ 2回 62名	朗読会 0回 絵本の読み聞かせ 8回 214名	江東図書館
148	図書館資料の団体貸出	団体貸出登録をした障害者施設等に、図書の出借を行う(貸出期間は1か月)。また、特別支援学級向けにテーマ別の団体貸出セットの出借を行う(貸出期間は1か月)。必要に応じて、配本車による配送も行っている(要予約)。	充実	17団体 4,106冊	18団体 4,061冊	江東図書館
149	図書館資料の宅配サービス	身体障害などの理由により、一人で図書館に来館することが困難な方を対象に、宅配による図書館資料の貸出・返却サービスを無料で行う。 平成28年度の登録者実績は、18人。	継続	42人	46人	江東図書館
150	コミュニティ活動情報発信事業(ことこみゅネット)	地域で活動する市民団体のイベント情報や活動情報を、インターネットを活用して一元的に発信するポータルサイト「江東区コミュニティ活動支援サイト・ことこみゅネット」を活用し、コミュニティ活動への関心を高め、誰もが活動に参加できる環境の整備を図る。 また、市民団体の活動情報の発信を充実することにより、団体の活動活性化と人材確保を支援する。	継続	サイトアクセス件数 年間49,739件 登録団体数 187団体 (令和4年3月31日現在)	サイトアクセス件数 年間80,031件 登録団体数 190団体 (令和5年3月31日現在)	地域振興課

(2)スポーツ活動の支援

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
151	知的障害者学習支援事業「エンジョイ・クラブ」(再掲)	学校教育を終了した軽度の知的障害のある就労者を対象として、余暇活動に必要な一般教養、スポーツ、レクリエーション等を実施し、学習活動を支援。	継続	継続実施 (No.144を参照)	継続実施 (No.144を参照)	障害者施策課
152	障害者水泳教室	おおむね3歳以上の愛の手帳または身体障害者手帳をお持ちの方を対象に、水慣れや水泳の初歩を指導する。 指導員26人、医務員1人を配置し、スポーツ会館にて年6回実施。 28年度は、延参加者数133人。	継続	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	指導員 26人 医務員 1人 参加者数 延126人 R4.5.15 19人 R4.6.19 25人 R4.9.18 20人 R4.10.16 25人 R4.11.20 23人 R4.12.18 7人 R5.1.15 7人 12月・1月は障害者エンジョイアクアエクササイズとして実施	スポーツ振興課
153	障害者カヌー教室	身体障害者手帳所持者で、肢体不自由(下肢)障害の方で座位を保つことができ、1人で車椅子の操作ができる方を対象にカヌー教室を開催。 28年度は、参加者数3人。	継続	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	令和4年9月17日に実施を予定していたが、応募者0名であったため、開催を中止。	スポーツ振興課
154	障害者スポーツフェスタ	障害者のスポーツ活動への参加を促進し、障害者スポーツへの理解を深め、東京2020パラリンピック開催に向けた気運醸成を図る。年1回開催。 28年度は、延参加者数2,034人。	継続	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	令和4年12月11日に開催。 延べ参加者数1,950人。	スポーツ振興課
155	初級障がい者スポーツ指導員の養成	スポーツを通じて健康の維持・増進や社会参加を推進するため、専門的な知識や技能を身につけた指導者の養成と資質、指導力の向上を図る。 28年度は、修了者数28人。	継続	令和4年1月30日、2月11・13・23日の4日間にて講習会を実施。修了者数17人。	令和5年1月28・29日、2月4・5日の4日間にて講習会を実施。修了者数18人。	スポーツ振興課
156	スポーツ体験会の開催	障害のある方がスポーツに気軽に取り組みめるように、各種スポーツ講座や体験イベントの充実を図る。 28年度は、車いすバスケットボール、ブラインドスイミング、車いすバドミントン、ボッチャ等を実施。	継続	潮見庭球場にて「車いすテニス体験会」を令和4年3月27日に実施。 参加者数15人。 夢の島競技場にて障害者専用利用日となる「バラスポーツ HOUR」を令和4年3月6日に実施。 参加者数39人。	亀戸SC ミニボッチャ体験コーナー(常設)56日・参加者数768人。 有明SC ブラインドマラソン 1回・参加者数17人。 東砂SC 障害者エアロビクス 5回・参加者数90人、福祉作業所指導員派遣事業 3回・参加者数22人、体育室空間活用事業 2回・参加者数33人。 深川北SC みんなで気軽にスポーツ体験1回・参加者数25人。 潮見庭球場にて「車いすテニス体験会」を令和5年1月22日と3月19日の2回実施。 参加者数17人。 夢の島競技場にて障害者専用利用日となる「バラスポーツ HOUR」を令和4年度は計11回実施。 参加者数109人。	スポーツ振興課

(3)行政と区民との協働(区政への参画)

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
157	地域自立支援協議会(再掲)	地域の相談支援ネットワークづくり等について検討する協議会。福祉関係機関や障害当事者がメンバーとなり、地域の課題解決に向けた支援方策を考えていく。	充実	協議会開催 2回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回目はオンライン会議システムも併用) 〔主な議題〕 ・障害者優先調達推進法に基づく調達実績について ・指定特定相談支援事業について ○専門部会 精神部会 4回 地域生活支援部会 1回 就労支援部会 3回 児童部会 6回 権利擁護部会 1回	協議会開催 2回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン会議システムも併用) 〔主な議題〕 ・障害者優先調達推進法に基づく調達実績について ・指定特定相談支援事業について ○専門部会 精神部会 4回 地域生活支援部会 2回 就労支援部会 3回 児童部会 6回 権利擁護部会 6回	障害者施策課
158	障害者計画・障害福祉計画推進協議会(再掲)	障害者関係の各種事業を効率的・効果的に実施するため、障害者計画等の策定・進捗管理等を行う協議会。福祉関係機関や障害当事者がメンバーとなり、福祉サービスの向上を目指した協議を行っている。	継続	協議会開催 2回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回目はオンライン会議システムを併用、2回目は書面開催) 〔主な議題〕 ・江東区障害者計画・第6期江東区障害福祉計画・第2期江東区障害児福祉計画について ・江東区障害者計画の進捗状況及び江東区障害福祉計画・江東区障害児福祉計画の実績報告について ・障害者実態調査について	協議会開催 3回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1、2回目はオンライン会議システムを併用) 〔主な議題〕 ・江東区障害者計画の進捗状況及び江東区障害福祉計画・江東区障害児福祉計画の実績報告について ・障害者実態調査について	障害者施策課

7 区民の理解と共感の醸成

(1) 啓発・広報活動の推進

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
159	区報・ホームページによる実施事業の紹介	区報や区のホームページに、障害者施策として行っている事業などを掲載。	充実	継続実施	継続実施	障害者支援課
160	障害者福祉のてびきの発行	障害者が利用できるサービスを広くまとめた冊子を作成・発行。	継続	継続実施	継続実施	障害者支援課
161	障害者週間等による啓発・広報活動の推進	障害に対する理解を深めるため、「障害者週間」(12月3日～9日)、「障害者雇用促進月間」、「人権週間」、「精神保健福祉普及運動」などに合わせて、啓発・広報活動を推進。	継続	継続実施	継続実施	障害者施策課
162	障害者福祉大会の開催(再掲)	障害者とその家族に芸能等の催しで慰安するとともに、地域住民との交流を図る。年1回開催。	継続	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	3年ぶりに開催。式典、芸能パフォーマンス、お客様コーナーの3部制にて実施。	障害者施策課
163	精神保健講演会	精神保健についての正しい知識と精神障害者への理解を得る啓発活動の一環として、精神保健講演会を保健相談所で実施。	継続	1回 12人	4回 90人	保健予防課
164	難病講演会	難病患者及び家族を対象に、病気に対する正しい知識、療養のあり方などの理解を深めてもらうため、専門医による講演会を保健相談所で実施。	継続	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	3回 84人	保健予防課
165	障害者の虐待防止や啓発・広報活動の推進	障害者の尊厳を害し、自立と社会参加を妨げる虐待の未然防止と早期発見のため、障害者虐待防止センターを中心に啓発・広報活動を推進。	継続	パンフレットの配布	パンフレットの配布	障害者支援課
166	障害者差別解消法の啓発・広報活動の推進	誰もが住みやすいまちづくりを実現するため、「不当な差別的取扱いの禁止」や「合理的配慮の提供」を定めた障害者差別解消法の啓発・広報活動を推進。	充実	継続実施	継続実施	障害者施策課

(2)福祉教育の推進

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
167	福祉教育の推進	福祉の心を醸成し、福祉活動を活発にするため、学校教育や生涯学習の場で、福祉に関わるテーマでの学習会や福祉施設等での職場体験を実施。	○小中学校にて障害理解の学習 手話・アイマスク・点字・車いす体験、パラリンピアンとの交流、ボッチャ体験等 小学校45校 中学校17校 義務教育学校1校	○小中学校にて障害理解の学習 手話・アイマスク・点字・車いす体験、パラリンピアンとの交流、ボッチャ体験等 小学校45校 中学校23校 義務教育学校1校	指導室	
			継続 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	障害者施策課	
168	区職員に対する福祉施設体験学習	区職員の研修メニューの中に、福祉施設での体験学習を取り入れている。	継続	受講者数 6名 研修期間 3日間 受入施設数 5施設	受講者数 22名 研修期間 3日間 受入施設数 10施設	職員課
169	家庭教育学級事業	こどもの成長・発達、親の対応を学ぶ講座。幼児から中学生のこどもを持つ保護者を対象とし、それぞれの発達段階ごとに展開する。幼児の親の家庭教育学級、小学生の親の家庭教育学級などがある。	継続	年長児の親の家庭教育学級のプログラムに、「発達障害の理解」をテーマとする回を設けた。	年長児の親の家庭教育学級のプログラムに、「発達障害の理解」をテーマとする回を設けた。	地域教育課

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
170	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	江東区長期計画に位置づけられた、ユニバーサルデザインの視点により、年齢・性別・国籍の違いや、障害の有無等にかかわらず誰もが公平かつ快適に生活できるようにするため、区と区民及び事業者が協働でまちづくりを推進する。 区民・区職員が参加をしたユニバーサルデザインまちづくりワークショップを開催するとともに、子どもたちへの意識向上を図るため、子ども向けユニバーサルデザインハンドブックを活用して小学校での出前講座を開催。	継続	区民(障害当事者含)・区職員協働によるUDまちづくりワークショップを開催。小学校等で行う出前講座の新しいプログラムづくりを通して、ユニバーサルデザインの基本的な考え方についての理解を深めた。 また、出前講座については、区立学校の4年生児童やその家族に対して、ユニバーサルデザインへの意識を浸透させ、困っている人がいれば自然に手をさしのべる、「心のユニバーサルデザイン」を育むことができた。 ワークショップ開催数 8回 出前講座開催校数 25校	区民(障害当事者含)・区職員協働によるUDまちづくりワークショップを開催。ユニバーサルデザインを体験するプログラムづくりを通して、ユニバーサルデザインの基本的な考え方についての理解を深めた。 また、出前講座については、区立学校の4年生児童やその家族に対して、ユニバーサルデザインへの意識を浸透させ、困っている人がいれば自然に手をさしのべる、「心のユニバーサルデザイン」を育むことができた。 ワークショップ開催数 8回 出前講座開催校数 33校	都市計画課

8 安全・安心な地域生活環境の整備

(1) 防災・防犯対策の推進

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
171	心身障害者家具転倒防止器具取付	重度の心身障害者の世帯に対し、家具転倒防止器具の取り付けをする(1世帯3点まで)。平成28年度の実績は4件。	継続	1件(世帯)	0件(世帯)	障害者支援課
172	避難行動要支援者名簿の作成及び個別計画の作成・更新	拠点避難所や消防署などに配備された避難行動要支援者名簿を活用して名簿登録者の安否確認や避難支援を行う。 また、外部提供同意書に同意した避難行動要支援者の具体的な安否確認や避難支援の方法を検討して避難行動要支援者調査票(個別計画)の作成・更新を行うことで、災害時だけでなく、平常時からの防災啓発等を行う。	継続	令和3年10月1日現在 名簿登録人数 44,333人 個別計画策定済件数 11,180件	令和4年10月3日現在 名簿登録人数 46,474人 個別計画策定済件数 9,680件	福祉課 防災課
173	こうどう安全安心メール(再掲)	携帯電話またはパソコンから事前登録していただき、江東区内の不審者情報や、ひったくり、空き巣、振り込め詐欺等の各種防犯対策情報や、地震等の災害、各種気象情報、区からの防災情報等をメールにて配信。	継続	令和4年3月末現在 登録者数 32,806件	令和5年3月末現在 登録者数 32,568件	危機管理課

(2)地域の支えあいの推進

① 地域の支えあい

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
174	救急通報システム設置	ひとり暮らし等の障害者世帯(難病世帯も含む)が、緊急事態に陥ったときに、手元のペンダントを押すだけで直接東京消防庁に通報できる機器を設置。 平成28年度の実績は、41件。	継続	19件 ※令和3年度から、事業名が「救急通報システム設置」に変更。	直接通報型 14件 民間代理型 2件	障害者支援課
175	ファクシミリ緊急通報	聴覚または音声機能に障害があるため、電話による110番、119番通報が困難な人に対して、ファクシミリによる緊急通報に用いる専用の用紙(緊急通報カード)を無料で配布。	継続	継続実施	継続実施	障害者施策課

② ボランティアの養成・活動の促進

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
176	江東ボランティア・センターの運営	江東ボランティア・センターでは、ボランティア活動の相談、コーディネート、ボランティア登録、ボランティア養成等を実施しています。	継続	継続実施 個人登録 2,560名 団体登録 84団体	継続実施 個人登録 2,477名 団体登録 76団体	長寿応援課
177	手話通訳者・協力員の養成(再掲)	聴覚障害者のために手話通訳のできる方を養成。	充実	新型コロナウイルス感染予防対策を講じて実施。	新型コロナウイルス感染予防対策を講じて実施。	障害者施策課
178	音訳者養成講座	視覚障害などのため、通常の活字資料の利用が困難な方に、図書館資料を音声化するサービスを行う「音訳者」を養成するため、前期・後期2年間の連続講座を開催し、講座修了後は図書館に登録し、音訳者として活動。 また、音訳者に登録した後も、音訳者としての技術をレベルアップさせるため上級講座を開催。	継続	全4回 120人	全23回 459人	江東図書館

9 配慮を必要とするこどものための教育・療育等の充実

(1) 乳幼児や就学前児童などに対する健診及び相談の充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
179	乳幼児健康診査	乳幼児期の各期における健康診査(乳児健診、経過観察健診、1歳6か月・3歳児健診、発達相談)を行い、心身障害児の早期発見、早期療育のための相談指導を保健相談所で実施。	継続	4か月児(乳児) 3,935人 乳児経過観察 423人 1歳6か月 4,012人 3歳 5,194人 幼児経過観察 376人 発達相談 440人	4か月児(乳児) 3,776人 乳児経過観察 438人 1歳6か月 3,811人 3歳 4,264人 幼児経過観察 418人 発達相談 570人	保健予防課
180	新生児・産婦訪問指導	保健師・助産師が家庭を訪問し、新生児の養育に関する相談・指導、健康チェック、産婦の健康や育児の悩み等の相談を行う。保健相談所で実施。	継続	保健師 延べ2,032人 助産師(委託) 延べ5,396人	保健師 延べ1,720人 助産師(委託) 延べ4,100人	保健予防課
181	発達相談(運動発達)	乳児健診で運動発達に問題が認められた乳児に対し、専門医の診察・相談と理学療法士による指導を行う。保健相談所で実施。 平成28年度の相談実績は、72回延べ715人。	継続	72回 延べ531人	72回 延べ716人	保健予防課
182	1歳半経過観察心理相談(ことばの相談)	1歳6か月を過ぎた幼児のことばの発達に関する相談を行う。保健相談所で実施。 平成28年度の相談実績は、延べ996人。	継続	延べ944人	延べ943人	保健予防課
183	3歳児心理相談	3歳児の気になる行動や子育ての問題に関する相談を行う。保健相談所で実施。 平成28年度の相談実績は、延べ601人。	継続	延べ1,113人	延べ668人	保健予防課
184	こころの発達相談	各種健診及び相談から必要と認められる児童について、心理相談を行う。保健相談所で実施。 平成28年度の実績は、 個別相談:53回延べ324人 集団指導:71回延べ542人	継続	個別相談 56回 延べ117人 集団指導 138回 延べ483人	個別相談 47回 延べ105人 集団指導 144回 延べ594人	保健予防課
185	子ども家庭支援センターの専門相談	区内6か所にある子ども家庭支援センターにおいて、こどもの発育やことばの悩み、親子関係について等、専門家による相談を定期的に実施。	継続	発達相談:73回 心理相談:248回 家族問題相談:171回	発達相談:155回 心理相談:126回 家族問題相談:212回	養育支援課

(2)療育・保育・就学前教育の充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
186	障害児発達支援事業	就学前のこどもの発達について、専門的な相談や療育を行う。 江東区こども発達センター「CoCo」で実施している。 ・こども発達センター（塩浜福祉プラザ内） ・こども発達扇橋センター（障害者福祉センター内） 通園事業 1日定員 塩浜44人 扇橋41人 相談事業 延べ6,563人（平成28年度）	充実	○こども発達センター ○こども発達扇橋センター 通園事業（1日定員） 塩浜：44人 扇橋：41人 相談事業 延べ5,957人	○こども発達センター ○こども発達扇橋センター 通園事業（1日定員） 塩浜：44人 扇橋：41人 相談事業 延べ 5913 人	障害者施策課
187	障害児保育の充実	区では、要支援児保育審査会を設置し、障害児の入園の可否及び処遇を審査し、適切な障害児保育を実施。 平成28年度の公立保育園巡回指導対象児は111人（うち要支援認定児13人）。認可保育施設要支援認定児は58人、認可外保育施設要支援認定児は3人。 発達障害児の巡回指導のために、私立保育園及び認証保育所等への臨床心理士等の派遣補助を実施。平成28年度は、40施設、251人に対して実施。 また、平成29年度より重症心身障害児・医療的ケア児等を対象とした居宅訪問型保育事業を開始。	充実	・巡回指導対象児：74人 ・特別支援保育対象児童 区立：25人 公設民営・私立：165人 認証：7人 小規模・こども園：3人 ・クラスサポート保育対象児童 公設民営・私立・こども園：29人 小規模：0人 ※令和元年度より「要支援認定児」という名称が「特別支援児童」という名称に変更 ※クラスサポート保育対象児童は、個別支援が必要な満3歳以上の利用児童を指す	・巡回指導対象児：66人 ・特別支援保育対象児童 区立：24人 公設民営・私立：165人 認証：5人 小規模・こども園：3人 ・クラスサポート保育対象児童 公設民営・私立・こども園：41人 小規模：0人 ※令和元年度より「要支援認定児」という名称が「特別支援児童」という名称に変更 ※クラスサポート保育対象児童は、個別支援が必要な満3歳以上の利用児童を指す	保育計画課
				・私立・認証保育所等における臨床心理士等の発達相談に対する経費について、54施設（379名）に対して補助を実施。	・私立・認証保育所等における臨床心理士等の発達相談に対する経費について、59施設（385名）に対して補助を実施。	保育課
188	幼稚園の障害児受け入れ	幼稚園で、障害児を受け入れて幼稚園教育を実施。 平成28年度の就園相談における対象人数は、37人。	充実	就園相談 27人	就園相談 30人	教育支援課
189	児童発達支援	障害児が施設に通い、日常生活の基本的な動作や集団生活への適応訓練を受ける。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
190	居宅訪問型児童発達支援	通所支援を利用するための外出が著しく困難な障害児の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導や知識技能を身につけるための支援を実施。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
191	障害児相談支援	発達状況に応じた専門的な相談、心のケア相談による親子支援を行い、適切な療育を促す。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課
192	児童発達支援センターの充実	身近な地域における通所機能のほか、保育所等訪問や相談支援などの地域支援を行う児童発達支援センターの整備を推進。	充実	設置2箇所	設置2箇所	障害者施策課
193	保育所等訪問支援	児童が集団生活を営む施設を訪問し、他の児童との集団生活への適応のための専門的な支援を実施。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課

(3) 特別支援教育体制の充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
194	義務教育の就学相談	教育委員会では、障害の種類・程度によって適切な教育を保障するための就学相談を実施。平成28年度の実績は358件。	充実	就学相談 504件	就学相談 485件	教育支援課
195	特別支援学級の設置	平成28年度は小学校6校に特別支援教室を開設。今後の特別支援教育のニーズや地区要素を踏まえ、特別支援学級の計画的な配置を行う。 平成28年度の実績 ・小学校の固定学級 (知的障害) 12校 30学級 187人 (聴覚障害) 1校 1学級 6人 (言語障害) 1校 3学級 47人 (情緒障害) 4校 16学級 148人 ・小学校の特別支援教室 6校 22人 ・中学校の固定学級 (知的障害) 6校 18学級 120人 ・中学校の通級指導学級 (情緒障害) 1校 6学級 52人	充実	・小学校の固定学級 (知的障害) 13校・38学級・266人 (自閉症・情緒障害) 1校・1学級・7人 ・小学校の通級指導学級 (聴覚障害) 1校・1学級・8人 (言語障害) 1校・3学級・47人 (特別支援教室) 46校・494人 ・中学校の固定学級 (知的障害) 7校・16学級・102人 (自閉症・情緒障害) 1校・1学級・7人 ・中学校の通級指導学級 (特別支援教室) 24校・92人 ※小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程を含む。	・小学校の固定学級 (知的障害) 13校・39学級・265人 (自閉症・情緒障害) 1校・1学級・7人 ・小学校の通級指導学級 (聴覚障害) 1校・1学級・7人 (言語障害) 1校・3学級・50人 (特別支援教室) 46校・487人 ・中学校の固定学級 (知的障害) 7校・16学級・100人 (自閉症・情緒障害) 1校・1学級・8人 ・中学校の通級指導学級 (特別支援教室) 24校・92人 ※小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程を含む。	教育支援課

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
196	学習支援事業	通常学級に在籍する特別な教育的配慮を必要とする幼児・児童・生徒に対し、区独自に学習支援員を配置し、個別学習支援を行うとともに、円滑な学級運営に寄与する。学習支援員は、主としてLD(学習障害)AD/HD(注意欠陥/多動性障害)・高機能自閉症等の発達障害を有する児童・生徒を対象として学習支援を行う。 平成28年度の実績 学習支援員 小学校45校 中学校16校	充実	学習支援員B・C・D (通常学級) 小学校 45学校 中学校 22学校 義務教育学校 1校	学習支援員B・C・D (通常学級) 小学校 45学校 中学校 22学校 義務教育学校 1校	教育支援課
197	心身障害児等介助	区立小中学校「特別支援学級」及び幼稚園に対し、児童・生徒の安全確保等のため介助員を配置。また、通常学級に在籍する身体等に障害を有する児童・生徒の生活介助を行うため、認定就学者等介助員を配置している。 平成28年度の実績 介助員 小学校62人 中学校27人 幼稚園56人 認定就学者等介助員 小学校19人 中学校1人	充実	・学習支援員A (特別支援学級) 小学校 81人 中学校 41人 ・学習支援員E (肢体不自由児等支援) 小学校 30人 中学校 2人 義務教育学校 3人 ・学習支援員F・G 幼稚園 70人 ※いずれも年間の実人数	・学習支援員A (特別支援学級) 小学校 88人 中学校 42人 ・学習支援員E (肢体不自由児等支援) 小学校 31人 中学校 6人 ・学習支援員F・G 幼稚園 73人 ※いずれも年間の実人数	教育支援課
198	小中学校就学奨励事業	特別支援学級へ就学する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、学用品購入費等を支給する。	継続	特別支援学級 小学校 44人 中学校 22人 通級指導学級 小学校 51人 中学校 1人 通常学級対象者 1人	特別支援学級 小学校 51人 中学校 24人 通級指導学級 小学校 43人 中学校 2人 通常学級対象者 1人	学務課

(4)放課後対策の充実

No.	事業名	事業内容及び平成28年度実績など	目標	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課
199	学童クラブにおける障害児の受け入れ	学童クラブに障害児を受け入れる場合、巡回指導員による指導や、私立学童クラブに対して障害児を受け入れる場合に補助対象指導員分として補助金の加算を行う。 平成28年度に障害児を受け入れた学童クラブは、16か所 36人。	継続	令和2年度より学童クラブはきつずクラブB登録(放課後こどもプラン)に統一。 受入れ実績はNo.200のB登録を含む。	令和2年度より学童クラブはきつずクラブB登録(放課後こどもプラン)に統一。 受入れ実績はNo.201のB登録を含む。	地域教育課
200	放課後こどもプラン	小学校施設などを活用して、放課後や夏休みなどに、児童が安心安全に過ごせる居場所を提供する。自主的な学びの場・遊びの場を提供するA登録と、学童クラブと同様に就労世帯向け等に生活の場を提供するB登録の二つを設置している。 A登録は、1年生から6年生を対象。B登録は、1年生から3年生までと、障害のある4年生から6年生(特別支援学級・特別支援教室・通級指導学級と特別支援学校に在籍)が対象。 平成28年度で、障害児を受け入れたA登録は33か所192人、B登録は23か所51人	継続	障害児の受入れ実績 A登録 29か所 130人 B登録 40か所 116人	障害児の受入れ実績 A登録 35か所 161人 B登録 44か所 136人	地域教育課
201	放課後等デイサービス	学校通学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、学校教育と相まって障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進。	充実	障害福祉計画の実績報告を参照	障害福祉計画の実績報告を参照	障害者支援課